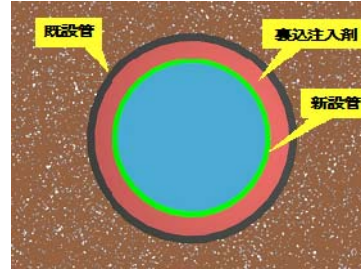


水輸送用パイプインパイプ工法

1.はじめに

老朽化した既設管を更新する場合、既設管を掘り起こして新設管に交換するのが一般的ですが、道路事情や地下埋設物ならびに騒音や振動等の工事公害による現場環境の制約等、種々の問題が発生します。
パイプインパイプ工法とは老朽化した既設管を掘り起こして交換するのではなく、既設管に新設鋼管を挿入し管路を更新する工法であるため、先に挙げた問題が発生しない更新工法です。



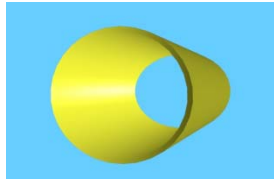
2.特徴

- ・ 挿入管には鋼管を使用するため溶接接合となり一体管路が形成できます。
- ・ 兵庫県南部地震に於いても、パイプインパイプ工法を採用した管路での被害が皆無であった事から、大規模な地震に於いても十分な信頼があります。
- ・ 高い管内水圧に対しても漏洩の心配はありません

3.挿入管方式

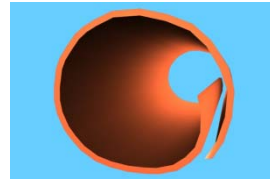
①普通管方式

新設管径が既設管内径より多少下回っても良い場合



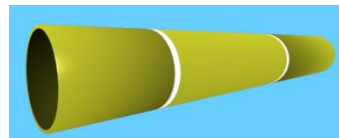
②巻込管方式

新設管径を既設管内径により近づけたい場合

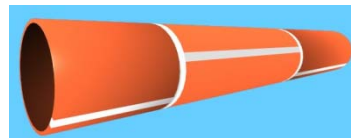


4.溶接延長と挿入管長さ比較

①普通管方式

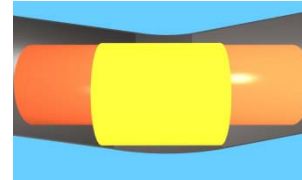


②巻込管方式



③挿入管長さ比較

既設線形、溶接延長から、最適方式を選択



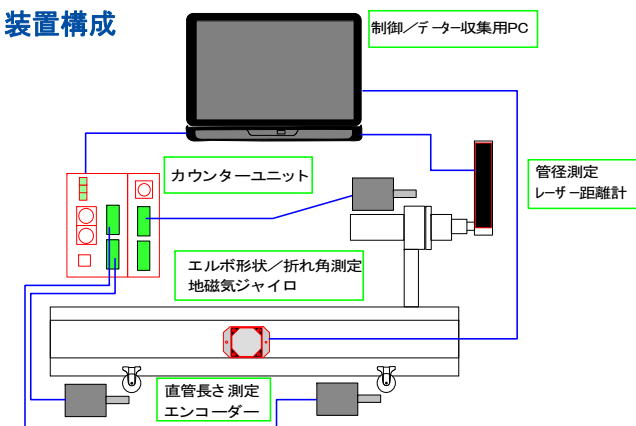
5.事前測量

測量装置

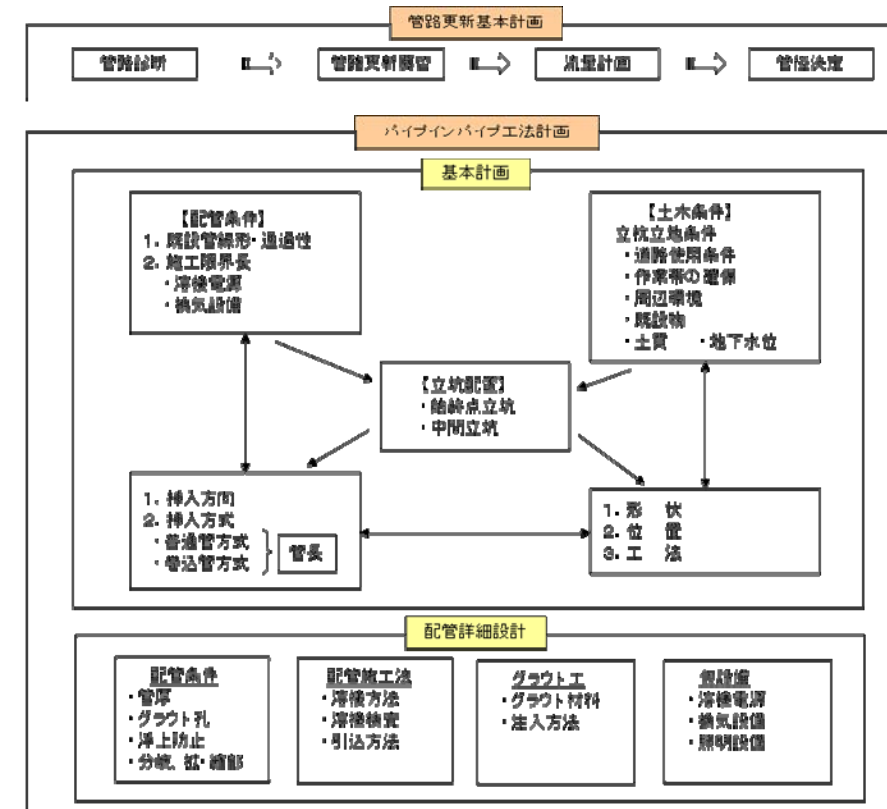


管内径 : ±5mm
直管長さ : ±10mm
エルボ形状／折れ角度 : 規格品 (5,11,22,45°) の区別が可能

装置構成



6.パイプインパイプ工法の計画



7.施工実績

お問い合わせ下さい。

8. 施工フロー

▶ パイプインパイプ工法の施工フロー

立坑築造



既設管切断

管内清掃

管内測量

詳細設計・製管

引込設備



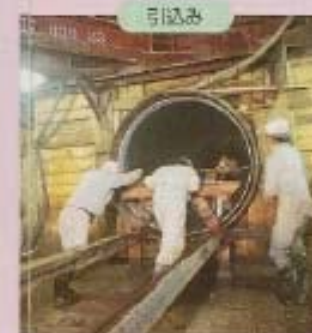
管引込み



引込準備



引込み



溶接



溶接検査



グラウト工



管内面塗装



既設管との連絡



立坑埋戻



完了